

○ 一代諸經

1. 一代諸經の其の中に
此の法華經は最爲第一
2. 兩無妙法蓮華經
爾前の諸經に成りがたき
二乗の成仏えたる法華經
3. 兩無妙法蓮華經
三世の諸仏の本懐は
此の法華經を説くぞ導とき
4. 兩無妙法蓮華經
四海の唱導師となつて
始めて華洛に題目を
旭に向つて唱へ出す
日像菩薩の流れをば
我等が今に至るまで
授かり唱ふる是ぞ嬉しき
5. 兩無妙法蓮華經
五逆の提婆と云はれしも
此の法華經の功力にて
地獄の猛火に在りながら
天王如来となり王ふ
今、末代の我々が
之こそ其れぞ手本なりけり
6. 兩無妙法蓮華經
六道生死の雲はれて
第一義天の月ぞかがやく
7. 兩無妙法蓮華經
七難盛んの衆生には
此の法華經は是好良薬
8. 兩無妙法蓮華經
八才幼稚の竜女さへ
文殊の教化の法華經で
利那に變成男子して
竜蓋蛇身の其の身をば
即身成仏得たる法華經
9. 兩無妙法蓮華經
九界の当体そのままに
松竹桜に至るまで
当位即妙、兩無妙法蓮華經
十界具足の曼荼羅は
10. 兩無妙法蓮華經
我等が一念三千の
諸法実相書きぞ頭はず

○ 數陀音頭

恩徳広大釈迦如来
平等一視の願なくば
變化難度の衆生ゆえ
いかでか生死をはなるべき
祖師の出世の本懐は
余宗の邪義を押しやぶり
諍論の科をあらためて
無間の道をふさぐなり
法華經信解の其の人は
諸仏も歡喜しました
大利をうることを疑はず
五障の竜女も成道とげて
五逆の提婆も授記せらる
如何なる罪の衆生でも
此の經、受持の人なれば
三十二相の華ひらき
無明の雲も晴れぬべし
実相真如の月すみて
十方世界に輝やけり
釈迦の恩徳報謝せよ
慈悲の方便温養して
白い浴衣に兩無妙とかいて
(もいのいののとは思ひの科へ……)